

資料5

Ⅲ② 経営健全化計画の完了報告の概要について

○経営健全化計画の完了報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
観光施設事業	兵庫県	たつの市	国民宿舎事業会計	1
	山口県	美祢市	観光事業特別会計	3

兵庫県たつの市 国民宿舎事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成26年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

たつの市国民宿舎事業会計において、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づいて平成26年12月25日に策定した経営健全化計画に沿って経営の健全化を進めてきた。

たつの市国民宿舎赤とんぼ荘及び志んぐ荘の2荘は、平成27年4月1日からの指定管理者制度導入に向けた準備を行ったほか、新舞子荘は160,000千円で民間売却を行った。

加えて、一般会計から735,070千円の支援を受けた結果、資金不足額は解消し、平成26年度の経常収支は288,933千円の黒字となった。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度の前年度 (平成25年度)	計画最終年度 (平成26年度)
当初計画 A		280,930
解消実績額 B		280,930
現在計画 C		—
B-A 又は C-A		0
資金不足額	280,930	0

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の前年度 (平成25年度)	計画最終年度 (平成26年度)	
	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	36.0	—	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

一般会計からの補助金を最小限に抑えるためのコスト削減

- ① 委託料を対前年比で12,400千円の削減
- ② 備消耗品費を対前年比で7,940千円の削減
- ③ 燃料費を対前年比で8,456千円の削減
- ④ 広告宣伝費を対前年比で6,002千円の削減

2 今後の公営企業の経営の方針

・ 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

ア 赤とんぼ荘

指定管理者制度導入初年度は利用人数を維持しつつ、平成28年度からは料理のメニュー及び物販の改善により客単価をアップし、ハイキング客、ビジネス客の利用増により収益の増加を図る。

イ 志んぐ荘

指定管理者制度導入初年度は利用人数を維持しつつ、平成28年度からは料理のメニュー及び物販の改善により客単価をアップし、学生及び企業の研修施設としての利用増により収益の増加を図る。

② 支出の削減に関する事項

赤とんぼ荘及び志んぐ荘は、民間活力導入により、人件費及び原価率の圧縮を行う。

さらに平成28年度以降は利用者の増加に伴う経費の増加を最小限に抑えつつ、運営体制・人員の見直し等により、コスト削減を継続的に行う。

③ その他

国民の余暇の過ごし方、嗜好の変化など、時代の変遷とともに国民宿舎を取り巻く環境は大きく変化し、厳しい状況にあるが、民間活力導入等による、新たな経営形態への移行により、さらなるコスト削減や営業力の強化などに取り組み、着実な経営改善を図っていくものである。

山口県美祢市 観光事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成26年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・戦略的広告事業について、業務委託し実施した。近県及び九州に向け雑誌・新聞広告・インターネット等各種媒体を通じた積極的な広告宣伝、観光PR活動等を展開。
- ・中国自動車道美東サービスエリアのリニューアルに合わせ、観光PR・観光施設への誘客を図った。
- ・山口県観光連盟、美祢市観光協会、広域連携団体などと協力し、中部圏・九州圏の旅行社・教育委員会等に対し、体験学習素材の提供等、修学旅行誘致活動を行った。
- ・山口県国際観光推進協議会・県内観光関連業者と連携し、海外（台湾・韓国）からの観光客の誘致活動を実施。
- ・施設ごとの特性を活かしたサービスの充実や積極的な情報発信を行った。
- ・大正洞・景清洞の観光案内業務を民間に委託した。
- ・業務全体の見直しを図り、秋吉台観光交流センターの職員を1名削減した。
- ・冬場の清掃業務を見直すなど稼働率に応じた施設の営業時期等の見直しを行った。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)
当初計画 A		159,138	250,215	264,543	245,284	261,396	132,072
解消実績額 B		221,882	184,998	219,420	249,182	180,867	189,913
現在計画 C		—	—	—	—	—	—
B-A 又は C-A		62,744	-65,217	-45,123	3,898	-80,529	57,841
資金不足額	1,312,648	1,090,766	905,768	686,348	437,166	256,299	66,386

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	169.5	141.1	135.2	113.1	128.7	77.8	93.2	49.5	60.5	16.6	39.8	—	11.3

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 養鱒場の業務運営方針の年度計画を定め、弁天池を活用したチラシを秋芳洞入洞者に配布することで連動した集客を目指した。引き続きジオパーク活動を含め弁天池を中心とした一体的な観光施策の中で養鱒場の活用を検討する。
- ・ 観光客をおもてなしする職員の意識改革と職場の統制を図り、特に職員の接客能力の向上を図るためおもてなし研修事業に参加し、研修のまとめとして「笑顔ライブ」と称して成果発表を行った。

2 今後の観光事業の経営方針

・ 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 営業力の強化、施設改修、人財育成を年次的に推し進める。
- ・ 観光事業の柱である秋芳洞にふさわしい施設とサービスを再構築し、顧客需要に応じた観光施策を展開し、秋芳洞入洞者等の増加を目指す。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 更なる業務の効率化を図り、秋吉台観光交流センターを中心とした各業務の統合管理により経費抑制に努める。
- ・ 効果的な民間委託を行い、人財育成により横断的な業務の実施を促進し、繁閑対策も積極的に行い経費の節減に努める。

③ その他

- ・ 平成 27 年度に残る赤字額 81,163 千円（資金不足額 66,386 千円）は平成 27 年度中に解消し、自立した安定経営を行う。